

来月の消費予報

**消費意欲指数は前年並み。
しかし、先行き不安から季節消費への意欲はやや失速**

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

4月の消費意欲指数は46.7点。前月比-0.0ポイント、前年比+0.3ポイントと、前月比・前年比ともに横ばいとなりました。

4月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

-0.0 ポイント

+0.3 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】

【前年比】



食品



飲料



外食



ファッション



食品



飲料



外食



ファッション



日用品



旅行



レジャー



車・バイク



日用品



旅行



レジャー



車・バイク



理美容



化粧品



インテリア



PCタブレット



理美容



化粧品



インテリア



PCタブレット



装飾品



書籍・エンタメ



家電・AV



スマホ・携帯



装飾品



書籍・エンタメ



家電・AV



スマホ・携帯

★UP：前月比/前年比で20人以上増加 ■DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

4月のポイント

Point 1：今年に入って続いていた前年比プラスの消費意欲はやや失速

4月は例年、3月に引き続き新生活準備や春物衣料などへの消費意欲がみられ、変動の少ない月です。今年も前月比、前年比ともに横ばいとなりました。ただ、今年1月~3月は前年比1ポイント以上のプラスが続いていたのに対し、4月は+0.3ポイントとやや勢いを失っている印象です。

消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「新生活・新年度の準備」や「春物衣料・雑貨」「春だから」といった季節消費への意欲は、前年と比べて減少しています(18年4月221件→19年4月176件)。また、「消費税増税」(18年4月3件→19年3月23件→19年4月28件)や「物価高」(18年4月24件→19年3月3件→19年4月33件)を理由に消費を控える声は、前月比・前年比ともに増えています。

その一方で「金欠、収入が少ない」(18年4月122件→19年4月95件)という現在の金銭的な問題を挙げる声の前年よりも減少していることを考えると、先行き不安が消費意欲にブレーキをかけているのかもしれない。

Point 2：前月に引き続き、女性は消費に対して慎重な姿勢

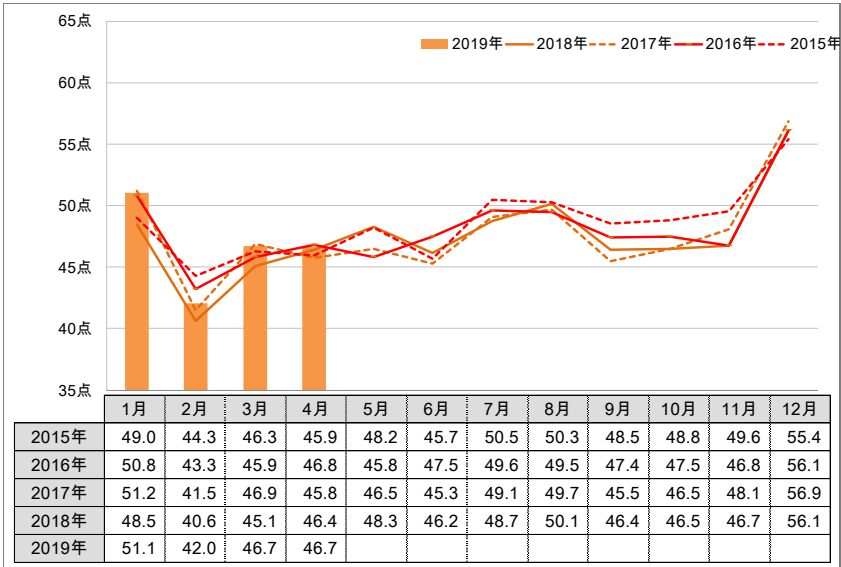
特に買いたいモノ・利用したいサービスについては、「外食」「装飾品」「理美容」「ファッション」の4項目で前年より20件以上減少し、「家電・AV」を除くすべての項目で前年比マイナスとなっています。なかでも女性は「インテリア用品」「装飾品」「理美容」の3項目で20件以上の減少となっており、前月に引き続き、女性は消費に対して慎重な姿勢を崩していません。

消費意欲指数

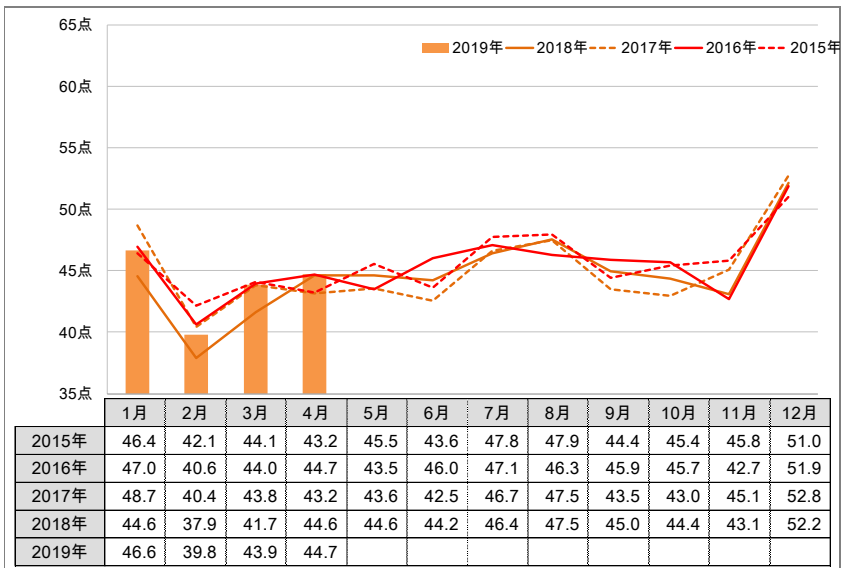
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

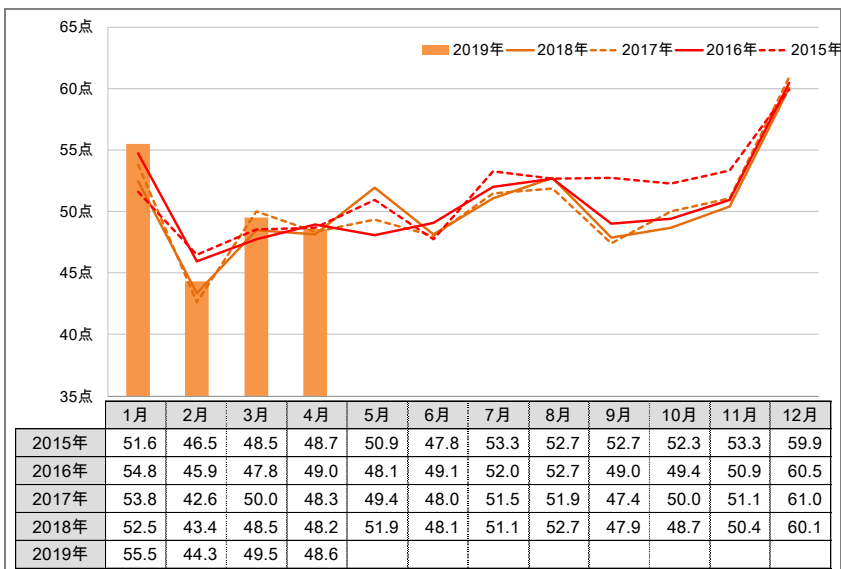
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【消費税増税、物価高への懸念】>

- ・10月から増税があるため(30点・男性28歳・東京都)
- ・消費税などが上がるので、少しでも出費を減らしたため(30点・男性35歳・兵庫県)
- ・2、3月の値上げラッシュ前に買いこんだのと、次は消費税前に買いこむので、それまでは買い控えの予定(30点・男性44歳・大阪府)
- ・10月に消費税が上がり、給料はそれほど上がらず、所得税なんかもバリバリとられて消費意欲が上がるはずがない(40点・男性57歳・埼玉県)
- ・いろいろな物の物価が上がって欲しいものが買えなくなりそう(30点・男性67歳・愛知県)
- ・消費意欲はあるが、これから消費税が上がる事を考えて今から少し節約したい(65点・女性31歳・埼玉県)
- ・消費税も上がるし、色々と値上がりするし、政治が信用できないから(10点・女性41歳・東京都)
- ・消費税が上がること、働き方改革で残業が減って収入が下がっているから(30点・女性53歳・大阪府)
- ・物価が上がるので、しめていきたい(30点・女性62歳・大阪府)
- ・生活に必要な食品などが次々と値上げされるので、財布のひもをひきしめなくてはならない(40点・女性68歳・愛知県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2019年4月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	24.7	-2.1	-3.0
男性	23.7	-1.9	-3.2
女性	25.6	-2.4	-2.8

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(370人)

参考:男性(179人)

参考:女性(191人)

順位	カテゴリー	4月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	209	+5	-25
2	旅行	152	-2	-4
3	食品	145	-1	-14
4	外食	131	-29	-32
5	飲料	107	+1	-1
6	家電・AV	103	-2	+3
7	レジャー	97	±0	-17
8	化粧品	92	-8	-10
9	書籍・エンタメ	91	-18	-17
10	理美容	77	-4	-27
11	日用品	75	-7	-13
12	インテリア用品	62	-1	-19
13	装飾品	56	-24	-31
14	パソコン・タブレット・周辺機器	55	-6	-10
15	スマートフォン・携帯電話	43	-8	-7
16	車・バイク	35	-16	-5

順位	カテゴリー	4月(人数)	前月比	前年比
1	旅行	78	+6	-7
2	ファッション	74	-5	-17
3	食品	69	+2	-3
4	家電・AV	64	-1	+11
5	飲料	57	+5	+5
6	外食	56	-16	-27
7	書籍・エンタメ	50	-9	-13
8	レジャー	44	±0	-10
9	パソコン・タブレット・周辺機器	39	-9	-2
10	インテリア用品	31	+4	+4
11	車・バイク	30	-10	+3
11	日用品	30	+6	-3
13	スマートフォン・携帯電話	28	-5	-4
14	装飾品	27	-12	-9
15	理美容	20	±0	-5
16	化粧品	15	+1	+9

順位	カテゴリー	4月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	135	+10	-8
2	化粧品	77	-9	-19
3	食品	76	-3	-11
4	外食	75	-13	-5
5	旅行	74	-8	+3
6	理美容	57	-4	-22
7	レジャー	53	±0	-7
8	飲料	50	-4	-6
9	日用品	45	-13	-10
10	書籍・エンタメ	41	-9	-4
11	家電・AV	39	-1	-8
12	インテリア用品	31	-5	-23
13	装飾品	29	-12	-22
14	パソコン・タブレット・周辺機器	16	+3	-8
15	スマートフォン・携帯電話	15	-3	-3
16	車・バイク	5	-6	-8

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

<全体にのみ下記基準で色付け>

- : 前月比/前年比で20人以上増加
- : 前月比/前年比で20人以上減少

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	149	190	147	144	754
女性	119	145	186	144	152	746
合計	245	297	374	278	306	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2019年3月1日(金)～4日(月)(2012年4月から調査開始/毎月月上旬に実査)

調査機関 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・夏山) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2019-04/>)からダウンロードしていただけます